

Kami Town Council News No.81

かみ議会 だより

令和7年3月定例会号

射添小学校
新1年生

今月のトピック

令和7年度予算決まる

香美町議会の情報はこちら



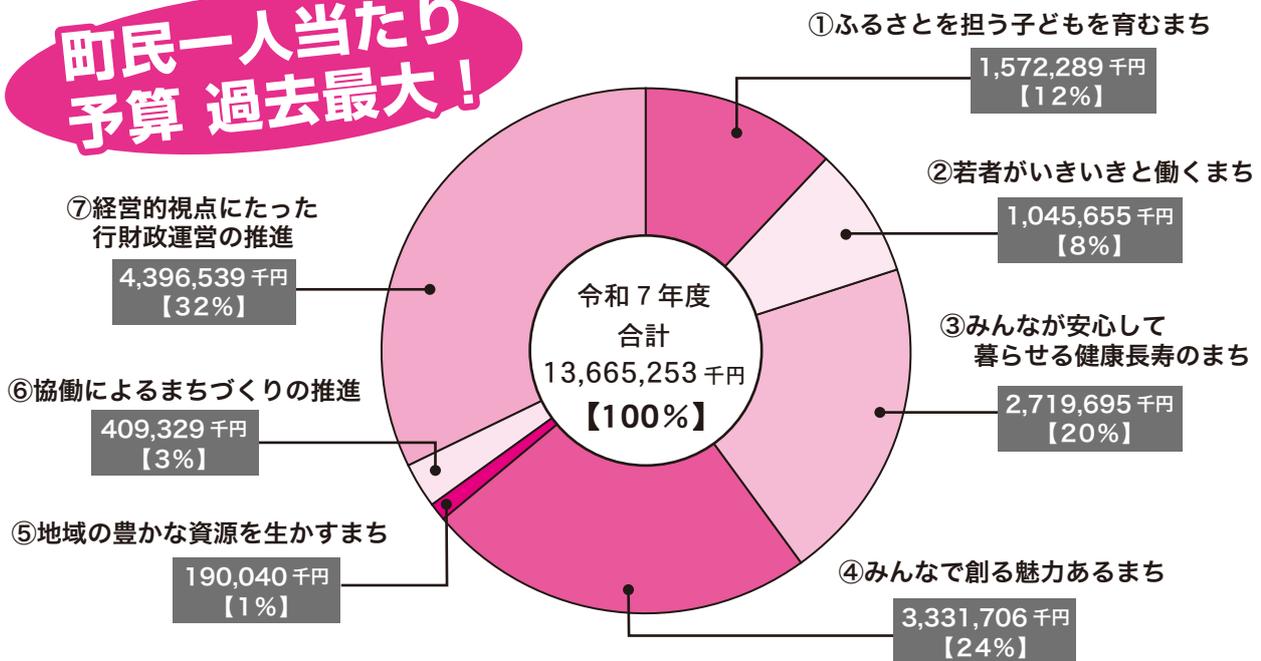
令和7年度に使う予定のお金が決まりました！

『香美町の持続可能な町政運営を実現する予算』を掲げて提案された令和7年度予算案を、全て審議・可決しました。

【予算】

生活に直結する予算(一般会計)……………168億円(町民一人当たり110万円)
水道などの会計がある特別会計及び企業会計…107億円

**町民一人当たり
予算 過去最大！**



総合計画に基づく事業の名称別予算の内訳

(単位：千円)

事業名	令和7年度	令和6年度	比較増減
①ふるさとを担う子どもを育むまち	1,572,289	1,507,697	64,592
②若者がいきいきと働くまち	1,045,655	1,523,681	△ 478,026
③みんなが安心して暮らせる健康長寿のまち	2,719,695	2,691,866	27,829
④みんなで創る魅力あるまち	3,331,706	3,619,489	△ 287,783
⑤地域の豊かな資源を生かすまち	190,040	213,936	△ 23,896
⑥協働によるまちづくりの推進	409,329	317,753	91,576
⑦経営的視点にたった行財政運営の推進	4,396,539	4,173,316	223,223
合計	13,665,253	14,047,738	△ 382,485

※予算額の合計は、掲載事業分のみを集計しています。予算総額とは異なります。

令和7年度の特別会計及び企業会計は、
 総額10,668,392千円となり、
 令和6年度と比べ、△563,209千円でした。
 詳細は以下の通りです。



令和7年度香美町特別会計及び企業会計予算一覧

(単位：千円)

	令和7年度	令和6年度	比較増減	増減率
特別会計 総計	5,244,044	5,408,586	△164,542	△3.0%
国民健康保険事業 計	2,345,046	2,466,762	△121,716	△4.9%
事業勘定	2,035,546	2,159,962	△124,416	△5.8%
佐津診療施設勘定	48,200	45,300	2,900	6.4%
兔塚・川会診療施設勘定	33,500	28,600	4,900	17.1%
小代診療施設勘定	146,100	148,300	△2,200	△1.5%
兔塚・川会歯科診療施設勘定	81,700	84,600	△2,900	△3.4%
後期高齢者医療保険事業	383,449	361,348	22,101	6.1%
介護保険事業	2,512,773	2,577,249	△64,476	△2.5%
財産区	1,567	2,511	△944	△37.6%
町立地方卸売市場事業	1,209	716	493	68.9%
企業会計 計	5,424,348	5,823,015	△398,667	△6.8%
公立香住病院事業	1,882,398	1,793,565	88,833	5.0%
水道事業	1,068,072	1,137,753	△69,681	△6.1%
下水道事業	2,440,238	2,866,416	△426,178	△14.9%
国民宿舎事業	33,640	25,281	8,359	33.1%

令和7年度予算を可決！

議長を除く14名の議員で構成された予算特別委員会(南垣 誠委員長)に付託された令和7年度当初予算は3月5日から実質6日間の日程で審査しました。主な質疑の内容は次の通りです。

● 観光工商課

問 大阪・関西万博推進事業のインバウンド対応は。

答 令和7年9月30日、10月4日の5日間、関西パビリオンの兵庫県ゾーンにて3市2町、交代でイベント対応します。

国内外で高い評価を受けている笑福亭鶴笑氏(朝来市出身)のパペット



南垣委員長(右)と見塚副委員長(左)

● 農林水産課

問 農業共同利用施設整備事業JAライスカンターの再編のメリットと農家負担は。

落語を午前と午後2回、メインホール(160㎡)で開催します。回廊ではポスターや特産品展示、モニターでPR動画の放映を計画しています。

答 浜坂ライスカンター機能の見直しにより、メリットとして
①色彩選別機の導入で品質向上が図れる。
②時期や一定以上の量は必要であるが、個別乾燥が可能で高価な乾燥機の更新はいらぬ。
③自己生産された保有米を持ち帰ることができる。
今まで通り旧ライスカンターへの出荷で再編による新たな農家負担は増えません。

● 健康課

問 健康ポイント制度のデジタルの取り組みは。

答 参加者が手軽に記録をつけられ達成度を実感できます。町としてもデータ収集が容易で詳細な分析が可能なデジタル機器はありますが、デジタル機器に慣れてない高齢者へ

● 福祉課

問 戦没者追悼・平和記念事業戦後80年を迎えるが、従来の事業と同じなのか。

答 戦後80年に特化した特別な事業は計画していません。

例年の通り「戦没者追悼式」「こども平和映画会」を今後も引き続き継続していきます。

● 教育総務課

問 村岡中学校空調設備設置完了は夏に間に合うのか。

答 5月に入札し、現場着手は早くても7月になり夏には間に合いません。

● こども教育課

問 部活動地域移行推進



谷口委員

事業費の進捗状況は。
答 他市町の動向も勘案し、休日のみでなく平日を含む地域移行を協議していきます。

● 生涯学習課

問 香美町スポーツ協会20周年記念講演の講師オリンピックマラソン選手有森裕子さんの選考理由は。

答 「心の金メダルにむかって」「思い続ければ夢はかなう」等の講演の実績があり、参加される方への訴える力、夢や希望を与えると考え選考しました。

● 建設課

問 除雪費の歩道除雪は万全か。

答 以前から一部で通学時間帯に間に合っていないとの指摘があり、原則8時には終了するよう要



松岡委員



西川委員

請していますが、豪雪時や雪の押し出しにより間に合わない場所があります。委託業者に出動時間を早めてもらうよう要請したり、国交省から歩道除雪機の増強等で改善に努めています。

● 上下水道課

(水道事業企業会計)
問 水道管の耐震性と老朽化は。

答 令和5年度末時点、耐震適合率6.3%で県下でも低い水準です。法定耐用年数40年を超えた管路延長の割合も増えています。
耐用年数の1.5〜2倍は使用可能として試算されており、大事に使って、優先順位の高い個所から管路更新をすすめます。



南垣委員長

● 公立香住病院

(公立香住病院)

事業企業会計

問 マイナンパー保険証の活用状況と現保険証の廃止の影響は。

答 窓口で専用の顔認証付きカードリーダーを設置しており、令和6年12月の利用率は16%と徐々に増えてきています。

カードの使い方のわからない患者さんには受付スタッフが対応するなど目立った混乱はありません。

現保険証は令和6年12月から原則廃止になっていますが、1年間はそのまま使用できます。

カードを取得していない人には資格確認証(有効期間5年)を発行することになっています。

● 村岡地域局

問 御殿山管理費、委託料、解体と跡地整備の設計業務委託料とは。

答 公衆トイレ、旧コーカートコース周辺の遊具、野外ステージを解体します。

園内の再整備、修景のための雑木除去、案内看板の更新、公衆トイレの目隠しパネル設置など跡地整備の予定です。

● 小代地域局

問 地域活性化センターの飲食コーナーが必要ではないか。

答 自動販売機の設置、定期的なパンの販売を考えています。

交流スペースを解放し、テラスを設ける予定です。



東垣委員

● 総務課

問 令和6年度末退職者数と7年度採用者数は。

答 退職者数は正規職員で一般行政職4人、専門職2人、幼稚園教諭2人の計8人です。

採用予定者は、一般行政職7人(新卒5人、社会人経験者2人)です。

● 企画課

問 地域イントラネット運営事業費衛星ブロードバンドの個人負担額は。

答 ①機器料等5万7850円。

②設置費用15万円まで2分の1補助後の負担は10万3千円までです。

問 タクシー運行継続支援事業補助金の詳細説明を。

答 ①道路運送法の一般乗用旅客自動車運送事業の許可を受けた事業者で



西谷 尚委員

福祉輸送事業限定許可を受けた事業者を除き、申請日時点で6か月以上継続運行している1事業者のみです。

②経営悪化したタクシー事業者の事業廃止による町民サービス低下を防ぐ支援です。

③現在のタクシー事業運行は香住区中心で、地理的条件があり、町内全域の町民に恩恵を平等に受けられるものではないです。

問 町民バス運営事業費

①町民バス射添線デマンド実証実験は。

②町民バス全体の見直しの検討内容は。

答 ①射添線は現在、定時定路線ですが、令和7年9月から11月までの3か月デマンド運行の実証実験を予定しています。

②当実証実験の結果によりますが、射添線にもデ



小谷委員



田野委員

マンド運行ができないか検討しています。

香住区も学校統合による児童の通学方法が概ね確認できたので路線も再編成を検討していきます。

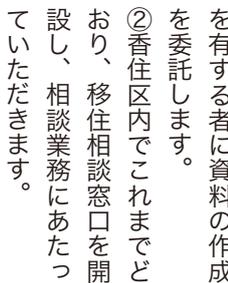
問 ①空き家物件調査委託料の説明を。

②移住相談窓口の対応は。

答 ①空き家バンクに登録するための空き家の物件調査で内容はホームページの公開において取りなどの図面作成、写真撮影、土砂災害区域などの注意点をまとめた資料の作成です。

現在は、職員で対応していますが、専門的知識を要する図面作成や注意事項の掲載に宅建の資格を有する者に資料の作成を委託します。

②香住区内でこれまでどおり、移住相談窓口を開設し、相談業務にあたっていただきます。



藤井委員

● 防災安全課

問 地域防災センターの物資、復旧資機材の備蓄状況と対応は。

答 ①広域防災拠点から搬送される緊急物資及び復旧資機材の集積・配送スペース。

②災害復旧活動のための駐屯スペース。

③物資及び復旧資機材の備蓄施設。

● 総括質疑

問 最終処分場の処理水を矢田川に放流せず下水道に繋ぐことはできないのか。

答 町長 現時点で水質基準を満たしており問題がないこと、また施設までの下水道管敷設費用や処理施設の永続的な稼働による将来負担を考えると具体的に検討はしていません。





見塚副委員長

問 会計年度任用職員の正規職員化などで増員を図るべきでは。

答 町長 会計年度任用職員が正規職員を希望する場合は採用試験を受験していただく必要があります。

そのままダイレクトに正規職員化は考えていません。

問 うつめつつつ。

答 教育長 いじめの未然防止策として、人権教育、道徳教育、コミュニケーション活動の充実を図ります。

日常の指導体制の構築、チェックリストの活用、年間指導計画の作成実行、児童生徒の変化や様子の把握、いじめを認知した際の組織的な対応の徹底、重大事態への対応の確認とさらにネット等のトラブルにも柔軟に対応できるように職員の研修を重ね

防止に万全を尽くしていただきます。

問 国民健康保険税を4.4%5231円の増額を見込んでいる。基金2700万円を使い物価高に苦しむ被保険者の負担を減らしては。

答 町長 上昇率が低く基金の繰り入れは行っていませんが、5月の国保運営協議会において慎重審議、答申に基づき6月議会に提出する予定です。

問 へき地医療の確保のため、兎塚、川会診療所の継続を。

答 町長 現状を総合的に分析し、地域の意見や患者の状況を確認しながら、継続と廃止の両面から検討を進めています。人口減少や高齢化の現状の中、診療所だけでなく町全体の医療環境の整備を検討することが必要



森浦委員

と考えています。

討 論

◆ 令和7年度

一般会計予算 反対討論 谷口 眞治議員

物価高に苦しむ町民の暮らしを守る予算がゼロである。国保税は、一人当たり4.4%増税する冷たい予算である。

現在配布中の商品券は7月末までで、8月以降の切れ目のない支援が無い。37億円の財政調整基金を使えば十分な財源はある。

デジタル化、マイナンバーカードの保険証化は強制であり、自治体所有の膨大な個人情報を大企業に売る標準準拠システム導入経費もすべての負担を自治体に押し付けている。

最終処分場の処理水の矢田川放流、高齢者大学の千円徴収、会計年度任用職員の正規職員化等いままでの指摘にこたえていない。



吉川委員

賛成討論 南垣 誠議員

燃料費の高騰等物価高に苦しむ事業者や、町民の暮らしをどう守っていくのか財政との絡みの中、スクラップ&ビルドの観点から苦心された予算である。浜上町政12年の集大成が読み取れ、幹部職員と協議し、住民課題にいかに対処していくかという町長の思いのつまつた予算であり、今後の補正に期待します。

賛成討論 西谷 尚議員

エネルギー価格、物価高騰の中、一人当たり110万円と過去最高の予算である。

特別会計、企業会計へ繰り出し金の高止まり、人件費の増加、公共施設の管理費の増加等に対し、地方交付税等収入が不透明であるが、ふるさと基金、各種基金投入等で収入を確保し、持続可能で

活力ある町づくり、将来を担う人づくり、安心で誰もが住みやすい希望を育てる予算である。

賛成多数で可決

◆ 国民健康保険事業 反対討論 谷口 眞治議員

基金を使って保険税を引き下げを求め、平準化を進める県下一本化には賛成できません。

現行被保険者証が昨年12月2日の新規発行停止に伴い短期証の廃止、資格確認が発行され、滞納者の納税相談の機会が失われないことを求める。

賛成多数で可決



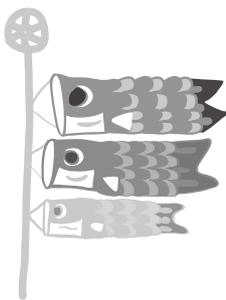
西谷 高弘委員

◆ 後期高齢者

医療保険事業 反対討論 谷口 眞治議員

物価高騰のおり、後期高齢者の年金は3年連続減っており、一人当たり8万9450円保険料そのものの引き下げを求め、75歳からの医療を差別している。

賛成多数で可決



補正予算

3月定例会において提案された議案は全て原案通り可決しました。

額によるものです。

◆一般会計補正予算 (第10号)

問 豪雨による農地災害の補助額が上がったのに受益者分担金が上がったのは。

答 財政課 令和2年3月定例会で当局修正案の条例が可決され、その条例に従い算出した結果です。

問 地域コミュニティ活性化事業費の大幅な減額は、射添のまちづくり協議会に限ったことなのか。

答 企画課 射添のまちづくり協議会に限定したのではなく、地域伴走支援員の確保ができなかったためです。

問 町民バス委託費の増額の要因は。

答 企画課 運賃収入の見込み額が過少だったためです。

問 保育実施委託料の増額は。

答 企画課 児童数の増加による人件費の増

◆国民健康保険事業

特別会計補正予算 (第6号)

◆後期高齢者医療保険

事業特別会計補正予算 (第3号)

◆介護保険事業特別会計

補正予算(第4号)

◆公立香住病院事業企業

会計補正予算(第4号)

質疑

問 外来・入院収益の大幅な減収の要因は。

答 病院事務局 外来は発熱外来の減少によるもので、入院は少子高齢化による人口減少によるものと考えます。

発議者 南垣 誠議員、森浦 繁議員

修正動議

令和6年度香美町一般会計補正予算(第10号)に対する修正動議

(主旨)

農地災害復旧費に掛かる補正額の財源内訳その他15,000円を削除する。

(理由)

6月22日～23日豪雨による農地災害は、激甚災害に指定されたことにより補助率が90%から98.4%に確定した。県からの補助額が増えたにもかかわらず、受益者分担金を15,000円増額して徴収しようとする。

香美町又は国若しくは県が行う事業の受益者分担金徴収条例第5条に、災害その他特別な理由がある場合において、「町長が必要である」と認めるときは、徴収する分担金の全部若しくは一部を免除し、又はその徴収を猶予することが出来ると定められている。

事前に農業者へ40,000円の負担と説明し、県からの補助が増額したにもかかわらず、受益者分担金を増高させることは、香美町の災害復旧支援、主要産業である農業従事者に対する姿勢に疑念を抱かせる補正予算と言わざるを得ない。

(款) 11. 災害復旧費

(項) 1. 農林水産施設災害復旧費

(単位: 千円)

目	補正前の額	補正額	計	補正額の財源内訳			一般財源	節		説明
				特定財源				区分	金額	
				国県支出金	地方債	その他				
1. 農地災害復旧費	3,400	0	3,400	285	△300	0	15		(財源内訳の補正)	
計	10,420	0	10,420	285	△300	0	15			

審議結果 不採択

計画策定・変更

3月定例会において提案された辺地総合計画の策定・変更に関する議案は全て原案通り可決しました。

◆ 辺地総合整備計画(奥佐津辺地)を策定することについて
老朽化した設備の更新。

◆ 辺地総合整備計画(相谷辺地)を策定することについて
老朽化した設備の更新。

◆ 辺地総合整備計画(山田・境辺地)を策定することについて
新たに取水沈砂池を設置。

◆ 辺地総合整備計画(相岡辺地)を策定することについて
道路法面の改修。

◆ 辺地総合整備計画(佐坊辺地)を変更することについて
道路改良。

質疑

問 事業費が増額となった要因は。

答 建築課 道路延長が延びたことと道路の拡幅等による工事費用が増加したためです。

追加議案

3月18日に上程された追加2議案は、全員賛成で可決しました。

議案

◆一般会計補正予算

(第11号)

除雪費の追加予算
(8700万円)

◆国民健康保険事業特別

会計補正予算(第7号)

国保加入による追加給付費の補正
(560万円)

1月臨時会

令和7年1月23日、1月臨時会において条例改正・補正予算2議案が提出され、すべて原案通り可決しました。

◆香美町一般職の職員の

給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて

質疑

問 人事院勧告に必ず従わなければならないのか

答 総務課 従前より、国の給与体系に準じてきています。

◆令和6年度

一般会計補正予算

問 町内で利用できる物価高騰対策援券に充てる財源は、最大の金額なのか。

答 財政課 国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金全てを利用しています。

問 民間保育所4施設に

対して行われる光熱費等高騰対策保育所等一時支援金の額は、単純に定数で振り分けられているのか。

討論

賛成討論

南垣 誠議員
燃料費が高騰する中で、物価高騰対策援券配布事業の実施、将来を担う子どもたちのへの保育所運営支援事業費については大いに評価できる。しかし、町単独で全ての事業者へ支援を検討する必要があったのではないかと。



契約

- 目的 香住自治区集会所整備工事
- 方法 制限付一般競争入札
- 金額 (1億3200万円)
- 相手方 中村建築 中村 慶次 (なかむら けいじ)

質疑 延べ床面積が区の人口に対して小さくないか。
答 弁 すべての区民が一同に集まる事がないので問題はないです。

債権放棄

破産法第35条の規定により、法人格が消滅したため、香美町内法人に対する債権を放棄した。

町ぐるみ総合検診料	28,810円	法定外公共物占有料	4,140円
-----------	---------	-----------	--------

香美町教育委員会委員



とおじ かずなり
田路 一成さん
(村岡区福岡)

◆任期は、令和7年5月31日から4年間です。

人権擁護委員



とおじ かずなり
田路 一成さん
(村岡区福岡)



たがみ けいじ
田上 圭児さん
(香住区無南垣)

◆法務大臣に推薦することに同意しました。任期は、令和7年7月1日から3年間です。

議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	谷口真治	松岡大悟	西川誠一	南垣誠	東垣典雄	西谷尚	小谷康仁	田野公大	藤井昌彦	見塚修	森浦繁	上田勝幸	吉川康治	西谷高弘	岸本正人
8	令和6年度香美町一般会計修正予算(第10号)	×			×			×		×	×	×	欠			—
	令和6年度香美町一般会計補正予算(第10号)に対する修正動議		×	×		×	×		×	×				×	×	—
35	香美町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例を定めることについて				×			×			×	×	欠			—
14	令和7年度香美町一般会計予算	×										×	欠			—
15	令和7年度香美町国民健康保険事業特別会計予算	×										×	欠			—
16	令和7年度香美町後期高齢者医療保険事業特別会計予算	×										×	欠			—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。



ふたりでハイハイ

町政を問う!

一般質問



ひがしがきのりお 東垣 典雄 議員

町の重点施策、第2期総合戦略(令和2年度から令和7年度)に数値目標があるが、この目標に最終年度どう取り組むかを問う。

第2期総合戦略の数値目標、達成は可能か
達成は困難ですが目標に近づけるよう進めます



①香美町における安定した就労の場を創出する。
②香美町への新しいひとの流れをつくる。
③若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる。
④安心な暮らしを守り、周辺地域と連携する。

町長

①新規就労者数、6年間で70人の目標に対し令和6年度末39人の

見込みです。
②若い世帯の新たな移住、6年間で90世帯の目標に対し令和6年度末41世帯の見込みです。
③年少人口(0歳~14歳)1650人を維持することとしていますが令和5年度は、1386人になっています。
③地域コミュニティ組織数6箇所を目標としています

が令和7年度に小代区での新たな組織の設立を含め2箇所の見込みです。
いずれの項目も令和7年度末では目標達成は困難な状況ですが目標に近づけるよう一層の取り組みを進めます。
その他こんな質問もしました
令和6年度町民アンケート調査結果報告について問う。

3月定例会での一般質問は11人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方などを町長や教育長に問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます)



美味しくなあれ！！



一生懸命頑張ったのだから

「折角良いことをしている町産のお米の素晴らしさを知ってもらおうのです。」



ふじい まさひこ 藤井 昌彦 議員

香美町美味しいお米コンテストは、広く町内外に

知ってもらおうのです。」

町産のお米の素晴らしさを

知ってもらおうのです。」

「折角良いことをしている

米生産技術の共有を ニーズにそって企画します

- ① 村岡米、みかた柳田米、つちかおり米、かにのほほえみ米等、銘柄の表示
- ② 減農薬、無農薬の表示
- ③ 栽培履歴の表示

町長 当コンテストは町産の美味しいお米の知名度向上と農家の方々の生産意欲の向上を図るためご協力が得られるのであれば、土づくり、肥培管理等の栽培管理についての発表をしていただくことも、農家の皆さんにも興味を持ってもらえるのではと考えております。近

年減少傾向にある出品数をピーク時の100件以上に増やすことを目標とし、農協、農家の皆さんのニーズに沿った内容で開催できるように企画します。



みづか おさむ 見塚 修 議員

私は昨年の12月議会で除雪対応について伺った。町長は国県との連携体制を整え、町の直営及び車道、歩道を含め33社への委託で交通

除雪体制と今後の取り組みは!! 除雪体制の在り方を検討します

安全の確保を図るべく準備を整えておりますと答弁された。今年は何回にわたり、長期間の寒波が到来し、大雪に見舞われた。そこで除雪対応について、①車道②歩道③消雪工、また町民からの苦情等の実態、対応、今後の取り組みについて伺う。

建設課と地域局に連絡員を配備し、対応してまいりました。①車道ではハチ北高原スキー場に通じる道で一時50台程度の滞留があり、②歩道では下岡丹生地間で除雪機の故障により、除雪ができない事例が発生し、地元区長に理解をいただきました。③消雪工では、水量不足で車両の通行が困難となる事例もあり、いずれも



通勤、通学に間に合わない等の苦情がありました。次年度に町全体の除雪体制の在り方を見直し、検討することとします。

その他こんな質問もしました
活力と安心・安全のまちづくりを求めて（Part4）
（安心・安全編その1）
道路法等改正に伴う安全かつ円滑な道路交通の確保と道路分野の脱炭素化の推進について伺う。

一般質問



～未来につなごう～「廃校プロジェクト」
【文部科学省のHPより】



子どもたちのために！

質問背景『令和7年度に臨む町政の基本的な考え方（町長）』『令和7年度 香美町教育の重点（教育長）』の中に統廃合に伴う公共施設



よしかわ やすはる 吉川 康治 議員

①令和7年度の取り組みが
あった場合の対応は。
町長 ①公共施設利用
活用検討フローに
対応します。庁舎内での活用
の有無を確認し、その可能性
があれば、民間などによる活

教育長 ①利活用検討の
参考とするため、地域や保護

その他こんな質問もしました
香美町の持続可能な町政運営に
関した考え方、取り組みについて。
香美町の未来を育てる取り組み
について。

R7年度における校舎等の利活用は
町長／R6年度に策定した利活用フローに従い対応します
教育長／R7年度早々に地元意向を検討委員会に報告します



にしただに ひろみ 西谷 尚 議員

この町に住む人がしつ
かり生活ができ、健康で人
と人のつながりの中で、明
るく生活ができる町でな
くてはなりません。本町に

町長 政策的な問題
解決や自治体としての取

香美町の社会環境の中
で産業も弱く、働ける環
境や生活できる取り組み
力をいれるべきでは。

町長 若い世代や女
性が一旦都市部に出ても、
帰ってこられる施策や取
り組みがなければ人口減
少は止められないと思っ
ていますが、これらの克服
は難しいです。香美町を選
んでいただけの取り組み
を展開してまいります。

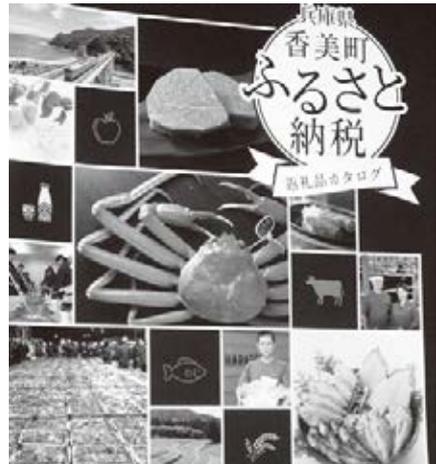
町民が住みたいと思える事が重要
今でも精一杯やっています



町政を問う!



信号機の認識は



香美町ふるさと納税

10月20日に開通し念願だった、冬期に雪による事故や車両が登坂出来なくなる交通障害の問題もなくなり円滑



にししたに たかひろ 西谷 高弘 議員

笠波トンネルの安全対策は 公安委員会に地元の声をつなぎます

な交通確保が可能になった。地元住民の希望もあり笠波トンネル北側を出た所に信号機が設置されたがトンネル内から本信号を遠方にて視認しづらいとの声がある。予備信号等の設置で安全対策をするべきではないか。

トンネル出口信号交差点ありの標識、手前約200mに追突注意の標識、手前約120mから速度落とせの路面標示、そのほかトンネル内に速度注意、出口にこの先カーブ注意の標識等設置、美方警察から信号機の視認性について問題なく設置されているとの見解です。

予備信号の設置基準は交差点の手前がカーブや坂道、建物の陰で視認しづらい場所が基準であり笠波トンネルでは必要ないとの判断ですが、改めて地元からの声を公安委員会につなぎます。

その他こんな質問もしました

健康寿命の延伸を目指した肺炎予防について問う。
安全・安心のまちづくり消防施設について問う。



もりうら しげる 森浦 繁 議員

宿泊予約システムの改善ついて問う 会議の場で議題にあげます

ふるさと納税は、順調に推移しているが香美町宿泊予約のホームページを検索すると大手旅行会社を通して申込み予約をす

ることになる。そうすると手数料を8%〜10%支払うことになるため、ホームページの改善を求める声が上がっている。

トはより広く多くの方に情報を提供して、香美町の宿泊予約に誘導する仕組みです。ふるさと納税につきましても、香美町を応援

したい寄付者のお気持ちで、宿泊補助券の購入やふるさと納税の活用を検討いただくものです。いずれの方法も、観光協会や、加盟されている方のご理解をいただいた上で、ホームページのつくりやふるさと納税の仕組みを構築しており、これを要因として収入減となつてい

その他こんな質問もしました

水道の安全安心について問う。



一般質問



3次計画に向けてしっかり検証を



8月以降の切れ目のない物価高騰対策を期待しています

令和7年度は香美町にとって合併20周年の節目であり、第2次総合計画後期基本計画および第2期総合戦略の最終年度であるこ



たの きみひろ 田野 公大 議員

持続可能な町政運営を実現する予算とした根拠は 安全安心、財政の健全化、地域経済の活性化を図ります

とから、これらの計画を着実に実践し、「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」の実現を目指す。そのため、「持続可能な町政運営を実現する予算」というコンセプトを掲げたが、その真意と根拠について問う。

町長

以下が持続可能な町政運営を実現する予算とした理由の要点で

- ①人口減少や少子高齢化に対応するため、安全安心な町の仕組みづくりを強化します。
- ②公共施設の老朽化対策を進めるため、必要な支出を計画し、効果的な施策展開を図ります。
- ③将来の財政課題に備え、限られた財源を有効活用

そのほかこんな質問もしました
改めて地方創生の考えを問う。



たにくち しんじ 谷口 眞治 議員

切れ目のない物価高騰対策を 状況によつては、考えます

全国消費者物価指数が3.2%上昇、エネルギー全体が10.8%上昇と物価高騰が町民のくらしを直撃している。一方で、1月

の実質賃金は1.8%マイナス、今年の年金はマクロ経済スライドによる目減りでマイナス改定。ひとり1万円の商品券は7月末で終了する。物価高騰に苦しむ町民に対して、8月以降の切れ目のないくらし応援の予算が必要ではないか。決算剰余金や財政調整基金を使えばできるの

ではないか。

町長

現在、一人当たり1万円の商品券を配布しているところです。令和7年度予算には計上していませんが、商品券の終了後の社会情勢の動向を踏まえ、さらなる物価高騰対策が必要か、見極める必要があります。町単独での続け様の同様の支援は、財政

的に大変厳しいものがありますが、状況によつては考えなければならぬ時もあると思っています。



町政を問う!



未来は子どもたちのもの

こどもたちに夢と未来をつなぐまち



香美町

Kami Town Official Site

新たな香美町らしいキャッチフレーズに期待!

町長 その町に住む人々が心地よく暮らしていることを基本に、人々の手でまちをつくり上げられることです。美しい町並み、取り



みなみがき まこと 南垣 誠 議員

町長・教育長・病院事業管理者の意見を伺っていきます

教育長 コロナ禍以降、少し学校全体に活力がなくなってきた。意識を変えれば活力は生まれるし、教職員

病院事業管理者 医療機関及び行政が一丸となり、地域の医療をカバーしながら、

私が出来ることを責任を持って、波の音が聞こえ稲穂の香り漂う豊かな大地で、1つでも、少しでもよかつたなと思っていただけ

巻く自然環境や景観がすぐれ、まちは活気に溢れ、農地は実り豊かで、住民は我が町や文化に誇りを持ち、まち全体が元気であることが理想です。

帰る。もつともつと学校を中心として、活力を取り戻したい。少なくとも行く中でも元気いっぱいの子どもたちが町中にあふれさせたい。

全な経営基盤の確立を目指します。町民に親しまれ信頼される病院を職員全員がしっかりと胸に刻み、全力で注力します。



まつおか だいご 松岡 大悟 議員

第3次総合計画策定におけるキャッチフレーズ公募の意味

昨年からの第3次香美町総合計画を策定する過程で住民アンケートや各世代とのワークショップ等を開催して、住民と共に香

町長 キャッチフレーズ募集対象を町内外としたのは、町民は町内の状況

他自治体をみると、現状

の課題解決型のキャッチフレーズとシティブロモーション的なキャッチフレーズに分類されます。本町の現状を認識した皆さんは課題解決型のキャッチフレーズになりがち傾向があると考え、町外の皆さんからの提案も募集しました。

美町の最上位計画を策定しています。その中において、香美町が目指す10年後の姿のキャッチフレーズを町内外から広く募集することは、住民と行政の距離を感じさせることにならないか。

を認識した上での提案になるかと思えます。一方、本町出身者や関わりを持った方々も多数おられ、町民とは異なった外部からの視点でのキャッチフレーズの提案を期待しており、様々な視点での将来像を提案頂きたいと考えました。



議会4年間のあゆみ

議会の4年間の活動と、議決した主な事業を年表と写真でふり返ります。

年表

令和3年4月 香美町議会議員の選挙

9月 香美町過疎地域持続的発展計画を可決

10月 香住病院新院長着任
内視鏡等機器を整備 新科新設も視野に

10月 小代地域局新庁舎完成



令和4年6月 議会におけるデジタル化調査特別委員会を設置

令和5年3月 香美町議会公聴会開催

3月 議会におけるデジタル化調査特別委員会報告

4月 学校給食完全無償化



4月 香住なしの学校開校



6月 役場本庁舎外壁修繕工事を含む予算可決

6月 香住病院東館を新設

9月 香美町議会議員定数削減の請願 不採択

10月 笠波トンネル開通

11月 新しい議場配信システムを視察

令和6年3月 香美町議会議員改革
調査特別委員会を設置

3月 新しい矢田橋が開通

3月 町道山手若松線が開通

4月 奥佐津幼稚園・小学校、佐津幼稚園・小学校閉園・閉校
新たな香住幼稚園・香住小学校スタート

6月 小代中学校体育館
大規模改修工事を含む補正予算を可決

9月 香美町議会議員改革調査特別委員会報告

10月 議会広報紙コンクールで努力賞を受賞



4年間ありがとうございました。

香美町議会議員一同



公共交通は住民との合意形成で利用増に

総務民生常任委員会 委員長 田野 公大

令和6年は、1月1日に発生した能登半島地震により、能登半島北部が甚大な被害に遭う大変な幕開けとなりました。また、本町では10月11日に浦上区内で発生した建物火災により、出火元から近隣の住宅や土蔵、車庫などにも延焼し、計9棟が被害を受ける近年にない大規模な火災となりました。改めて地震や水害、火災などの災害の備えとして、日ごろの準備や予防消防の重要性を考えさせられる1年となりました。

○所管事務調査

所管課(総務課、財政課、企画課、防災安全課、税務課、町民課、健康課、福祉課、公立香住病院)に係る事務の進捗状況や、事業内容の確認、発生した課題に対する対応や対策の確認などの事務調査を行いました。

○視察研修

近年加速する人口減少の中で地域コミュニティにおける絆の重要性とデジタル化の必要性に着目し、先進地の視察研修を行いました。

公共交通の取組

MaaSを活用した新たなモビリティサービスの実証実験が行われた京都府南山城村において、「過疎地における公共交通」をテーマに、先進技術と過疎地の融合について学びました。

健康アプリの取組

多可町では、「町民が楽しみながら行える健康管理」の方法として、デジタルツールを活用した広域的な取り組みについて精力的に調査を行いました。

○町への提言

公共交通の取り組みは、

国や民間事業を活用することで財政負担を軽減でき、地域住民との合意形成により課題解決を図ることで、利便性と安心感につなげ、住民満足度の向上を図るべきと提言しました。また、健康ポイント事業では、アプリの併用で、多世代に対応し、広域で共同運用することで負担軽減が図られる。また、電子マネー化などポイントを多様化することで、DXを意識した楽しい健康ポイント事業とし、健康促進と活性化を目指すべきと提言しました。



南山城村での研修風景



多可町の議場にて

開催日	調査事項
4月24日	協議事項 (1) 令和5年度活動報告について (2) 令和5年度活動計画について
5月13日	調査事項 (1) 所管事務調査について(町民課) (2) 所管事務調査について(健康課) (3) 所管事務調査について(福祉課) (4) 所管事務調査について(防災安全課)
6月12日	調査事項 (1) 所管事務調査について(総務課) (2) 所管事務調査について(企画課)
7月19日	調査事項 (1) 公立香住病院事業企業会計決算審査について(運営方法)
7月30日	協議事項 (1) 公立香住病院事業企業会計決算審査について
9月5日	調査事項 (1) 視察について (2) 健康ポイント事業について (3) 視察研修について
10月7日、10月8日	調査事項 (1) 過疎地における公共交通の取り組みについて(京都府南山城村) (2) 健康ポイント制度に関する取り組み及び制度導入後の効果について(兵庫県多可町)
11月21日	報告事項 (1) 浦上区内火災について(防災安全課)
12月9日	協議事項 (1) 視察研修のまとめについて (2) 視察研修報告のまとめについて(10月7日、8日) 京都府南山城村が取り組む過疎地における公共交通の取り組み、及び兵庫県多可町が取り組む健康ポイント制度に関する取り組み、制度導入後の効果について
3月3日	報告事項 (1) 香美町山手土地区画整理組合の解散について(企画課)
	調査事項 (1) 個別施設計画(インフラ施設見直し・策定)改訂の報告(総務課)

地域の安全と活性化、産業振興を目指して!!

産業建設文教常任委員会 委員長 森浦 繁

当委員会では、各所管課（農林水産課・観光商工課・上下水道課・建設課・教育総務課・こども教育課・生涯学習課）に1年を通しての重要課題、進捗状況を聴取し、活動しました。

○所管事務調査

当委員会では、各所管課が令和5年度の「特に力を入れた重点事項」の進捗状況を確認。令和6年度の「今後、1年間力を入れる重点事項」を調査しました。

○町内現地視察

(1)小代区秋岡上水道供給施設のろ過装置等を視察担当課長から町民への安心安全な水の供給について説明を受けました。
(2)町道鍛冶屋向平線の視察

道路は幅員が狭く急峻で特に冬場の通行に支障をきたすことから本工事により、幅員を広げ、町民の安全を確保します。

○視察研修

町内では1次再編として令和6年4月から佐津・奥佐津小学校が香住小学校に統合されました。既に2次、3次の再編が計画されており確実に空き校舎が発生します。当委員会ではこれらの



小代区内の町道を視察

○町への提言

「空き校舎利活用の専門課を設置するべき」
「受け入れ方針を決定すべき」
「地域の意見を聞きながら統合の話が出たらすぐに協議するべき」としました。

空き校舎を利活用し地域の活性化、産業振興、人材育成に繋げることを目的として2つの先進事例先を視察先として選定しました。

○町内現地視察

(1)京都府福知山市のTHE 610BASE(旧中むとべ六人部小学校)イチゴ農園企業誘致の事例
福知山市の空き校舎利活用の専門課を設置、受け入れ方針の決定、サウ



若狭町みさき漁村体験施設にて

○町への提言

「空き校舎利活用の専門課を設置するべき」
「受け入れ方針を決定すべき」
「地域の意見を聞きながら統合の話が出たらすぐに協議するべき」としました。

大学と以前から交流。活発な地域協議会活動。統合の話が出たころから前倒し協議。

○町への提言

「空き校舎利活用の専門課を設置するべき」
「受け入れ方針を決定すべき」
「地域の意見を聞きながら統合の話が出たらすぐに協議するべき」としました。

開催日	調査事項
4月4日	協議事項 (1) 令和5年度活動報告について (2) 令和6年度活動計画について
5月14日	調査事項 (1) 所管事務調査について (教育総務課、こども教育課、生涯学習課)
6月13日	審査事項 請願審査 - 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元をはかるための、2025年度政府予算に係る意見書採択の請願について
7月22日	調査事項 (1) 所管事務調査について(建設課) (2) 所管事務調査について(農林水産課) (3) 所管事務調査について(観光商工課) 協議事項 (1) 水道事業、下水道事業及び国民宿舎事業企業会計決算審査について(運営方法) 審査事項 (1) 議案第110号 令和5年度香美町水道事業企業会計歳入歳出決算審査について (2) 議案第111号 令和5年度香美町下水道事業企業会計歳入歳出決算審査について (3) 議案第112号 令和5年度香美町国民宿舎事業企業会計歳入歳出決算審査について 報告事項 (1) 香美町芸術文化振興計画について
9月4日	調査事項 (1) 視察研修(福知山市・若狭町)について
10月31日	調査事項 (1) 小代区内における配水計画等について(上下水道課) (2) 町道鍛冶屋向平線の整備について(建設課)
11月5日、11月6日	視察研修 視察先：5日 京都府福知山市 6日 福井県若狭町
12月10日	視察事項 廃校の利活用に関する取り組みについて 審査事項 (1) 請願審査「持続可能な学校の実現をめざす」 実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について
12月17日	調査事項 (1) 視察研修のまとめについて
3月4日	調査事項 (1) 視察研修のまとめについて (2) 第3期香美町子ども・子育て支援事業計画について(こども教育課)

この人ここにあり

『デンクウ de メイソウ』
マインドフルネス瞑想講師 藤田 サクラさん

「マインドフルネス」に着目し、藤田さんは村岡区相岡のロケーションを活用して瞑想の体験ができるカリキュラムを提供しています。瞑想とは何か、取り組みのきっかけなど、藤田さんにお伺いしました。



藤田 サクラさん

◆マインドフルネス瞑想とは？

アメリカやヨーロッパを中心に、医療・教育・ビジネス・スポーツなど多様な分野で活用されている瞑想法です。過去や未来ではなく、呼吸に意識を向け「今に生きる」練習をします。ストレス軽減や睡眠の質の向上、

集中力やパフォーマンスの向上など、多くの効果が注目されています。

◆移住のきっかけは？

ドイツ・ベルリンに13年間暮らしていましたが、子どもが小学生になるのを機に「母国に戻り、自然豊かな場所で暮らそう」と移住先を探しました。海や山があり、夫の仕事の都合で本州に絞って探していたところ、地域おこし協力隊の空き家バンク・移住定住の仕事に採用され、2021年1月に家族で香美町へ移住しました。

◆住み心地は？

最初の2年間は町の中心部の賃貸に住みましたが、田舎暮らしをしに来たはずが、前のベルリンの住まいより便利で快適な家に驚きました。しかし「このままでは田舎暮らしの感覚が鈍ってしまう」と思い、3年目に村岡区相岡へ引っ越しました。



外で瞑想

空き家だった家は、隙間風が入り、ところどころ歪みもありましたが、その修繕作業が楽しく、工夫するうちにどんどん愛着が湧きました。ムカデの侵入、庭の草との戦い、雪の上の熊の足跡など、次々と現れる課題に向き合うことで生活の知恵が増え、自分がたくましくなっていくのを感じます。

自然の近くで暮らしながら、一つひとつに向き

合うことは、まさにマインドフルネスの実践そのものかもしれません。より楽しく暮らすために今は「もつと筋肉をつけよう」と思っています。

◆議会や行政に望むこと

移住先を探る際、保育園や学校がオルタナティブ教育を取り入れているかを重視しました。最終的にはその点を妥協し、自然の豊かさやご縁を感じて香美町に決めました。もしも、町がオルタナティブ教育を実践する学校を作ることが出来たら、町民の幸福度が上がるだけでなく、その魅力に惹かれて移住する人も増えるでしょう。特化したものがあると、やがて町の



暮らしを満喫中

個性として根付き、発展につながります。

10年後、20年後の香美町を「どう縮小するか」ではなく、「どう発展させるか」という視点で考えられる町にしたいです。人々が萎縮せずにのびのびと自分を表現できる社会、それが実現すれば、自然に恵まれた香美町は真の「桃源郷」となるでしょう。マインドフルネス瞑想やオルタナティブ教育も、そんな社会づくりの一助となると信じています。

オルタナティブ教育とは？

画一的な授業とは対照的に、個性や主体性、体験を重視した教育法。近年では、公立校でも取り入れている自治体も出てきており、一般的な学校では実施していない取り組みを行なっていることが特徴です。

◆編集後記

この2年間で計8回の「かみ議会だより」を発行し、議会の情報をできるだけ分かりやすくお届けすることを目指してまいりました。至らぬ点も多く、ときには誤りを指摘されることもありましたが、皆様のご意見やご指摘があったからこそ、より良い広報紙づくりに向き合うことができました。

貴重なご意見をお寄せくださった皆様、そして広報紙の発行にご協力いただいた関係者の皆様をはじめ表紙写真の撮影やこの人ここにありに出稿いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

広報公聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 南垣 誠 |
| 副委員長 | 西谷 尚 |
| 委員 | 松岡 大悟 |
| | 小谷 康仁 |
| | 藤井 昌彦 |
| | 上田 勝幸 |
| | 吉川 康治 |

